

自然の宝庫を守ろう

十六万坪

旧有明貯木場の埋立撤回を求めて「十六万坪を守る会」が発足

第1号

発行所

江戸前の海
十六万坪(有明)
を守る会
会長 安田進
江東区東砂
6-17-12
TEL 3644-1344
FAX 042-
728-6864

東京港の有明北にある旧貯木場埋立に反対する私達は、三月七日に、東京湾では最大となつた五十九隻の船舶による海上デモを成功させました。

三月十一日には、シンポジウムを開催し、これも百九十名の参加により、大成功を収めました。この中で、幅広い団体・個人の協力により、「江戸前の海十六万坪(有明)を守る会」を発足させることを確認しました。しかし、埋立予算を含む二〇〇一年度東京都

予算(案)を審議する都議会が開会中であつたため、とりあえず四人の世話人を選出し、世話人会を中心にして、この間運動を展開してきました。三月二十一日には運輸省要請を行いました。運輸省からは、「東京都の埋立申請は三月十日に受理した。しかし、三月十四日に日本共産党の緒方議員に対して二階運輸大臣が答弁しているように、認可については慎重に対処したい。受理したと言つても実質的な書類の検討はこれ



エドハゼ(5cm SL)

十六万坪にエドハゼがいる！

環境庁も東京都環境局も絶滅危惧種に指定！

これまで十六万坪はマハゼの保育園として注目を集めてきました。なんと葛西や台場で確認されているエドハゼが絶滅危惧種に指定されて

有明北地区埋立事業の概要

臨海副都心開発の一環として旧有明貯木場の85%、34.5haを埋め立て、住宅9000戸や業務・商業ビルを建設し、

幹線道路及び新交通システム「ゆりかもめ」を延伸させるというもの。

埋立の事業費は400(利息を含めると520)億円とされているが、民間企業9社への補償に129億円かかり、関連の土地区画整理事業費やその他の道路整備を入れたら総額1319億円が投入されることになる。

財政難を理由に福祉予算900億円を切り詰める一方、財政

から」との回答がありました。都議会終盤の二月二十七日には、都議会各党派と都知事、都庁記者クラブに対して要請を行いました。埋立反対の立場をとる日本共産党、民主党、生活者ネットワーク、自治市民93では熱心に話を聞いてもらいました。

しかし、都知事要請の対応をした秘書は、中に入れるどころか、立つたままでも要請書を受け取るという大変不誠実な態度に終始しました。その日の昼から行った都庁に

残念ながら都議会では来年度予算が通過しましたが、運輸省が埋め立てを認可しない限り、工事を着工することとは出来ません。これからが正念場です。

四月末撮影のビデオ「十六万坪の豊かな海」完成。ハゼの稚魚がたくさん泳ぐ。

五月には、「ハゼの稚魚を見る会」開催。乞うご期待。

六月には「東京湾ハゼサミット」を開きます。

賛同アピールも始まります。

ホームページはもう開いています。これからイベントなども盛りだくさん。詳しくは次号で紹介いたします。

いることが判明。十六万坪にもいる可能性が高いと推測される。都が保護上重要としながら一方で埋立てにより絶滅の危機を加速させているとしたら？これは大問題だ。